

府中市商店街振興プラン（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

1 意見の提出期間

平成25年11月21日（木）から12月20日（金）まで

2 意見の提出者等

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
1人	2件	0人	1人	0人	0人	0人

3 意見の概要及び意見に対する市の考え方

	意見の概要	市の考え方
1	<p>デパートとの明らかな差異を表わす。高齢者と障害者が消費者の大部分であることを考え、巣鴨の商店街などを参考に、平日のみ幅5m長さ20m位の歩行者専用道路等を実施する。また、道路名に「助け合い通り」などの名称を付け、有料で良いので、商店会として「買物相談」や「お助け人派遣」などを実施する。商店会内にトイレと分からないトイレなどの設置や、長椅子の設置、休み所を設けるのも良いと思う。ここに来ると休まり、買物が楽しくなるような昔の商店街を1ヶ所復活させ、心暖まる雰囲気作りや、定期的なイベントの実施等についても考える。また、お店の第1印象がとても重要であることから、店づくりを大切にし、どうすれば利益をあげられるかを常に考え、お店の人がいつも元気で、常にお客の望んでいることを考える努力が必要です。</p>	<p>経常的な歩行者専用道路、道路名の設定は様々な許可や対策等が必要なことから実施は難しいものと考えておりますが、歩行者専用道路につきましては、イベント時などにおいて実施できる可能性もあることから、実施の段階において検討を図ってまいります。商店会におけるトイレ等のハード事業につきましては、「2-（2）-2商店街活性化事業」において実施が可能であることから、設置の要望に基づき、商店会と検討してまいります。個店の店づくりに対する支援といたしましては、店の外観変更などの設備に対しましては、「6-（1）-2中小企業事業資金融資のあつ旋」を活用していただき、通常融資よりも個店の負担を軽減できるよう支援を図っております。また、買物相談などのサービス提供事業につきましては、「4-（1）-4ネットワーク構築支援事業」をベースとして、会議所と検討を図ってまいります。高齢化社会がますます進む中、商店会の役割は大変重要と考えております。お客様のニーズを的確に捉え、商店会の活性化につなげてまいります。</p>

2	<p>計画の策定で終わらず、それを実施する意識を、各個人や商店主が常に持ち、イベントの実施で終わらず、賑わいを継続的な利益に繋げていくため、商店主の意識改革が必要。売ってやる感覚ではなく、お客様を大切にし、ニーズを把握する努力を意識して欲しい。新しい市民も増加していることから、市内の各団体や各施設と連携、情報を共有し、新しい人々の意見も参考にして、良い物を残しながら新しいものを開拓・開発することも必要。現在 TV でも人気のある街並みは、努力と研究の成果だと思います。お客様の方向を向く努力が必要です。</p>	<p>商店主や商店街が、継続的に消費者の心を掴んでいこうという意識を持つことは、個店や商店街の良さを知ってもらうためのイベントへの支援等や、その良さを作りだす、商品づくり、サービスづくり等への支援を受ける中で、消費者と関わる中から、学んでいていただきたいと考えております。また、消費者の心をつかむ方法などにつきましては、「講演会の出席支援（2－（2）－2 商店街活性化事業）」、「3－（2）－1 経営改善事業」、「6－（1）－1 アドバイザー派遣事業」などで支援を図ってまいります。また、市民ニーズの把握につきましては、「4－（1）－5 ワークショップ開催事業」等を活用しながら支援を図ってまいります。</p>
---	---	---